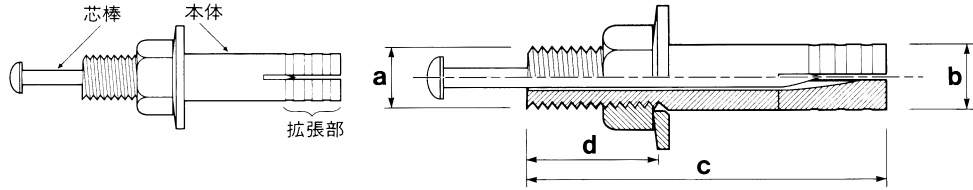


# ホーク・ストライクアンカー (芯棒打込み式)



おねじ呼び径とアンカー本体の径が等しく、取付け物の上から施工が可能であり、芯棒を打設することによりアンカーの拡張が可能で、専用打込み棒が不要です。芯棒が規定の位置まで到達していることが目視にて確認が可能で、施工管理も容易にできます。

※ご注意：予め、付属の座金および六角ナットはアンカー埋込み長さ+取付け物の最大厚さを確保した本体の位置にセットして下さい。



(電気亜鉛めっき)

## 寸法及び強度

●コンクリート設計基準強度=18N/mm<sup>2</sup>

品番	ねじの呼び a	外径 (mm) b	全長 (mm) c	ねじの長さ (mm) d	取付け物の最大厚さ (mm)	ドリル径 (mm)	コンクリート部 穿孔深さ (mm)	アンカー 埋込み長さ (mm)	使用手 ハンマー (kg)	※1最大強度		※2長期許容強度		質量/1本 (g)	梱包単位(本)	
										引張(KN)	せん断(KN)	引張(KN)	せん断(KN)		小箱	大箱
C6-45	M6	6.0	45	15	6	6.4	35	30	0.9	3.5	5.0	0.74	1.10	11	50	800
C6-60			60	20	21									15		
C8-40★			40	20	3									30		
C8-50	50	22														
C8-60★	M8	8.0	60	25	13	8.5	40	35	0.9	7.5	8.0	1.32	1.98	26	50	400
C8-70			70		23											
C8-80★			80		33											
C8-90★			90		43											
C8-100★			100		53											
C10-50	M10	10.0	50	25	5	10.5	35	30	1.3	9.5	13.0	2.06	3.34	37	50	400
C10-60			60											15		
C10-70★			70											25		
C10-80			80	25	45	40	1.3	9.5	13.0	2.06	3.34	54				
C10-90			90	35												
C10-100			100	45												
C10-120			120	65												
C12-60	M12	12.0	60	25	7	12.7	42	35	1.3	14.5	19.0	2.64	4.77	65	30	180
C12-70			70											17		
C12-80★			80											27		
C12-90			90	37	52	45	1.3	14.5	19.0	2.64	4.77	98				
C12-100			100	57												
C12-120			120	87												
C12-150			150	140												
C16-80★	M16	16.0	80	40	7	17.0	60	50	1.8	30.0	34.0	4.71	8.78	150	15	90
C16-100			100											17		
C16-120			120											37		
C16-150			150											67		
C16-190			190											107		
C20-130	M20	20.0	130	50	23	21.5	90	80	1.8	40.0	56.0	8.26	14.46	371	10	40
C20-150			150											43		
C20-190			190											83		
C20-230※3			230											123		
C38-60	W3/8	9.5	60	25	5	10.0	45	40	1.3	9.5	11.0	1.86	2.68	40	50	400
C48-70	W1/2	12.0	70	25	6	12.7	52	45	1.3	14.5	20.0	2.64	5.00	82	30	240
C48-90			90	30	26									99		

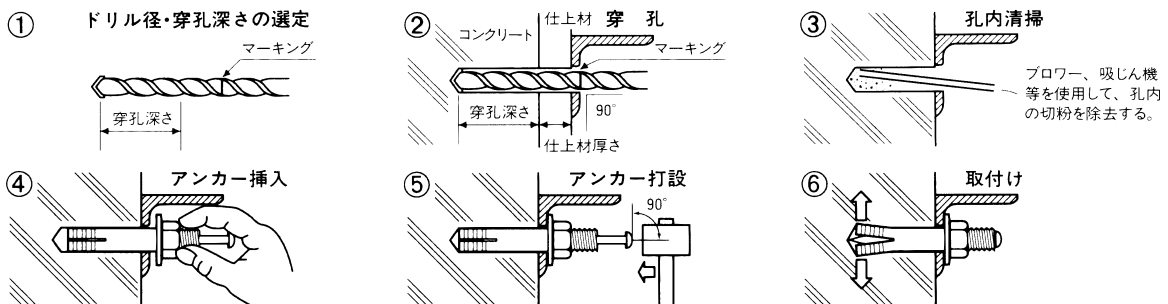
★=受注生産になります。

※1 最大強度は、実験値を表示しております。

※2 長期許容強度は、各種合成構造設計指針・同解説(日本建築学会)の計算式により算定した値です。(設置条件により低減する場合があります)

※3 C20-230は芯棒頭部はストレートになります。

## 施工手順



※ご注意：アンカーにセットされた座金の座面が、取付け物の面と接着していることを確認して芯棒を打設して下さい。